

広報



あさひ

No. 245

昭和51年

1月10日発行



朝日町風土記

遠い祖先の心を伝える 習俗風俗 神火受の神事

● 脇子八幡宮一泊 ●

大晦日の十二時、寺々の除夜の鐘がつきならせると、それを合図にわれ先にと元旦の初詣でがはじまる。所によつては一番詣での人には特に神様が幸福を与えてくださるとか、その家の農産物が豊作になるとかいわれている。

元旦には単に宮参りする以外に古くより「新火」を受けに宮参りする習わしが今も伝わっている。泊の脇子八幡宮には古くから、(住古の記録は定かでないが、文化年中：約一七〇年前)神殿で淨火を鑽り、それをローソクに点じ神前に捧げて、その火を初詣での参拝者に授けていた。

神火を受けた人は、それを提灯にともして持ちかえり神棚に移し、元旦の雑煮を炊くのに用いた。これを「新火」といった。

近年まではこの新火を受ける迄は参拝の途中、知人にあつても一切言葉を交わすことを禁じられていた、それは初口を神に捧げるといって、新らしき年の最初の言葉を神様に上げる為であった。行列を作り初詣でをするようになったこの頃では途中知人や友人に会えば口をきかぬことはさげられないであろうが、このような古くからの神事を今も生活の中に取り入れている人がいることに何か知ら言いしれぬ厳粛さを感じる。

今月のおもな記事

- ・ 町長、町議会議長年頭の辞
- ・ 第8回町議会定例会
- ・ 辰年生れのアンケート
- ・ 境公民館新築落成
- ・ 朝日町公民館関係者研修会開く
- ・ スポーツ便り
- ・ 朝日町人口予想者当選発表
- ・ 境診療所新築落成
- ・ 成人の日に国民年金を
- ・ 浄化槽設置状況調査協力おねがい
- ・ 積雪時の除雪と火災予防
- ・ 山崎市次郎さんに高齢者叙勲
- ・ 朝日町青年祭行われる
- ・ 朝日県立自然公園標識設置
- ・ 新春文芸

困難な情勢の中で 実効ある町政を

新しき年を迎え 年頭の辞



朝日町長

中川 雅一

朝日町のみなさん、
あけましておめでとう
ございます。新春の陽
光とともに昭和五十
一年を迎え、それぞれ清
新なお気持ちで、いろいろと抱負をい
だいておられることと思います。

町民お互い、よりよき年でありま
すようお祈り申し上げます。

かえりみますに、敗戦の荒廃から
経済復興へ、復興から高度成長へ、
と全速力で走りつづけた我が国は昭
和四十八年のオイルショックや物価
高を引き金として、急激なブレイキ
がかかり、さらに公害などこれまで
の成長から生じたひずみが表面化し
、今や大きな転換期を迎えておりま
す。一時さかんにつかわれたGNP
などという言葉を殆んどきかなくな
りました。内は不況とインフレのは
ざま打ちになり、外は石油、鉱石、木
材、飼料などの必需物資を大部分外
国に依存しているという資源小国の
現実を思い知らされています。また
生活環境の向上や福祉の増進など行
政需要の水準は年をおって増大の一
途をたどり、一方これに必要な財源
の不足が著しく、すみやかに対応す

る柔軟性に欠けております。政府で
は五十一年度の予算を景気回復型と
規定して、インフレを抑制しつつ不
況からの脱出を指向するという極め
て多難な事態に当面しています。こ
れはとりもなおさず地方自治体の
運営にも反映します。今までのよう
に経済成長の伸びを前提とした税収
入を予定することができず、財政は
硬直した困難なものになるおそれも
多分にあります。場合によっては引
き締めざるを得ない面も生ずると思
われます。申すまでもなく町政の進
展は一刻の停滞も許されません。力
をつくし、工夫をこらして責務を全
うするよう覚悟をあらたにしており
ます。さて町政の推進にあたっては
四つの目標をかかげております。第
一には生活環境の整備であります。
昨年は道路改良、広域圏斎場、消防
施設、老人憩いの家、集落移転、福
祉の向上など所期の成果をあげまし
たが、新年度はこれらを継続するこ
とにも、「山村振興」「モデル事業
」の着工を促進して農村の環境をよ
くしたいと存じます。また国道八号
線パイパスの着工の目的がたちまし
た。第二に教育条件の整備でありま

すが、泊高校の早期完成、町民総合
体育施設、泊南部保育所の改築を具
体化することを考えております。第
三には産業基盤の整備であります。
圃場整備、構造改善事業などの近代
化の促進をはかり、街に海に山に野
に、それぞれ地域の特性に応じた発
展を期します。永い間の希望であつ
た日東紡の新工場も近くフル操業に
入る予定ときいております。第四に
郷土の保全、海岸浸食、砂防治水、
急傾斜対策など、過去の苦しい経験
を忘れず、常に備える体制をととの
えるよう関係機関に対して強く要望
してゆきます。

以上いずれの目標もすべて財政的
な裏付けなくしては実現できないの
は当然であります。困難な条件の
もとで施策を洗い直し、実効ある町
政をすすめたいと存じます。

今年も格段のご理解とご協力をか
さねてお願い申し上げます。おわり
に、みなさまの一層のご健勝をお祈
りして、年頭の祝辞といたします。



朝日町議会議員

酒井 栄

新年明けましておめでとうござい
ます。ここに輝かしい新春を迎え、
町民の皆様と共に新春をことほぎ、
あわせて皆様の限りないご繁栄をお
祝い出来ますことは誠に同慶に存
じます。さて昨今に於けるわが国経
済の不況は極めて深刻であります。
容易なことではかつての地位まで景
気を浮揚させることはとても望め
るにもありません。さりとて消費は
美徳であると言われた個人消費の多
様化を考えますときそう簡単に節約
形の生活意識に変えることもこれま
た大きく期待することは出来ないで
しょう。また他方に於ては毎日の生
活に身近な各種の社会的施設の立
ち遅れや公害、交通事故、物価高な

どにみられるとおりに経済と生活のひ
ずみが拡大し、生活を妨げる障害が
深刻化しておりますことは各位のよ
く知られるとおりであります。一九
七〇年代が内政の時代といわれます
のも、このような経済と生活のひず
みを是正し、生活環境を整備して、
国民一人ひとりの生活に生きがいと
希望を託すことのできる、真に心の
豊かな社会の建設にあらゆる努力を
尽す必要があることを示しているこ
とと存じます。私ども町政を担当す
る者といたしましても、このような
観点に立ち、町勢総合計画ののっ
りすべての事業を積極的に推進さ
せ、ほんとうにみのりある町づくりに
まい進したいと心を新たにしてい
る次第であります。皆様は、わ
が町政に直接間接にその重要な位置
にある方々ばかりであります。幸い
に皆様方の相変わらぬご厚情とご支
援とご協力により、人の和を集中い
たしまして、本年の町政をたくまし
く活発に推進してまいりたい所存で
あります。どうか町民各位におかれ
ましては町政発展のために旧に倍し
ましてごきたんのない叱咤激励を賜
わりますようお願い申し上げます。ま
すとともに、御家族の方々ともど
もご多幸でありますようお祈りして
新年のご挨拶といたします。

昭和丙辰元旦

広川 親義

龍なりと示顕して地を覆う醜雲を捲きて去れかし昭和丙辰の年
点睛を欠きし龍のみ描かれて待むものみな空しかりけり
龍とならむ夢もあらむにぎこちなく水に泳げりたつのおとしこ
荒海のわすか明るむ空を背に龍巻生れて徐々に移動す
古稀に向う年のはじめに願ひて卑少に過ぎし吾の生きさま

北日本歌壇選者
朝日町教育委員長

昭和五十年第八回朝日町議会定例会

昭和五十年度朝日町一般会計 予算など議案二十七件を可決

● あらまし

昭和五十年第八回朝日町議会定例会は十二月十五日から十九日まで会期を五日間とし開会されました。

本定例会では、昭和五十年度朝日町一般会計補正予算(四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇)をはじめ、条例改正など議案二一件、諮問、選挙各一件、請願、陳情十件、(採択八件、継続審査二件)が可決、決定されました。

審議日程

十二月十五日 開会(会期の決定、
町長提案理由の説明)

十二月十六日 本会議(質疑、一般
質問)

十二月十七日 産業建設委員会(付
託案件の審査)

十二月十八日 文教厚生委員会
総務委員会

(付託案件の審査)
十二月十九日 本会議(常任委員長
報告、質疑、討論、採決、日程
の追加、議案三件審議可決)

可決されたもの

昭和五十年度朝日町一般会計補正
予算(四四、四五、四六追加)

昭和五十年度朝日町国民健康保険
特別会計補正予算(第一号)

昭和五十年度朝日町国民健康保険
診療施設笹川診療所特別会計補正
予算(第一号)

昭和五十年度朝日町国民健康保険
診療施設宮崎診療所特別会計補正
予算(第一号)

昭和五十年度朝日町国民健康保険
診療施設境診療所特別会計補正予
算(第三号)

昭和五十年度朝日町国民健康保険
診療施設境診療所特別会計補正予
算(第三号)

昭和五十年度朝日町簡易水道特別
会計補正予算(第一号)

昭和五十年度朝日町立泊病院事業
会計補正予算(第一号)

朝日町議会の議員の報酬及び費用
弁償等に関する条例一部改正の件

朝日町長、助役、収入役の給料及
びその他の給与支給条例一部改正
の件

朝日町教育委員会教育長の給与等
に関する条例一部改正の件

朝日町の職員の給与に関する条例
一部改正の件

朝日町の職員の特殊勤務手当に関
する条例一部改正の件

朝日町国民健康保険条例一部改正
の件

大字、字の区域の変更及び廃止の
件(同件名の議案五件)

朝日町立境小学校、大平冬季一時
分校設置に関する件

朝日町監査委員を選任するため同
意を求める件(同意)

朝日町固定資産評価審査委員会の
委員を選任するため同意を求める
件(同意)

人権擁護委員候補者を推せんする
ため意見を求める件(可決)

朝日町選挙管理委員及び補充員の
選挙の件(決定)

▽笹川流域地内のほ場整
備事業実施について
▽超過米の全量政府買い
入れ、米の買入れ限度数量の撤
廃について
▽市町村社会福祉協議会の法制化
並びに拡充強化について
▽清水町南部生活関連道路舗装工
事の早期実現について
▽清水町生活関連道路舗装工事に
早期実現について
▽公民館関係予算増額について
▽ユースホテル天香寺敷地内に
バドミントンコート及びバレーポ
ールコート整備に関し、町の助成
を懇請することについて

▽都市計画用途地域から除外し、
農用地として現状維持について
▽家庭保育手当等の支給について

十二月定例会における各常任委員
会は十二月十七日から開かれ、案件
に対する審査をした結果、いずれも
原案どおり可決とされた旨、各常任
委員長から報告され、次のことが要
望されました。

議員報酬については少数意見とし
て、その実施を一月とすべきである。
また、現在の社会情勢を勘案し、職
員はエリを正し住民に接すること。
このことにかかると人事管理に万全を
期すよう要望する。

たい。また、治病院の夜間の勤務者
についての暖房措置について配慮す
るよう要望する。

「ふるさと」歩道の開設について
は防火対策に十分配慮すること。ま
た、さけ、ますのふ化増殖事業につ
いては行政指導をされたい。

昭和三十年産米の政府全量買い上
げ及び米の買入れ限度数量の撤廃
に関する意見書(原案可決)

内閣総理大臣 大蔵大臣
農林大臣 食糧庁長官
あて提出

を置く等してはどうか。
(2)教育行政の方針について。
(3)給与改訂は上厚下薄ではない
か。議員報酬について算定根拠は。
答(1)については結構である。窓口の
スペースの問題もあり検討する。
(2)(3)については人事院の勧告及び
自治省、全国議長会の指導もあり、
それに沿っている。

社会体育の向上から少年スポー
ツ団体の育成、強化、スキー場設
備についての考えは。
答 青少年の体育向上には今後とも
つとめる。スキー場設備について
は、修理等について実施する。

町政懇談会の方法を再検討され
たい。言語障害児等に対する均等
に教育を受けられるよう計られ
たい。
答 懇談会については、よい方法を
研究する。言語障害児等について
は県下四ブロックであり朝日町は
魚津市大町小学校で自由に受けら
れる。

農村総合モデル事業について地
元負担が多いのではないか。
問 内容にもよるが町としても相応
の負担をするものであり次の機会
まで検討し答える。

統合中学校の件について関係地
域との話し合いはどうなっている
か。また小学校についても老朽化
しているものが多い。
答 町民グラウンドを建設中であ
り、時期を見て進める。小学校につ
いては従来の計画は変えない。

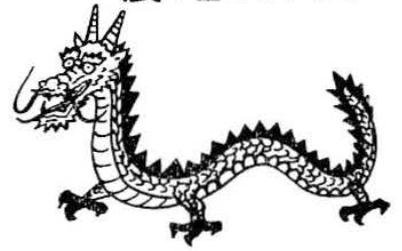
用途地域をめどはついていたのか。
住民との意志統一に努めている
か。一般情勢からして、特別職の給
料報酬のアップは控えるべきだ。
答 先に述べたとおり、国、県の指
導に沿っており、素朴な気持で提
案した。額については不当とは考
えない。

用途地域をめどはついていたのか。
住民との意志統一に努めている
か。一般情勢からして、特別職の給
料報酬のアップは控えるべきだ。
答 先に述べたとおり、国、県の指
導に沿っており、素朴な気持で提
案した。額については不当とは考
えない。

用途地域をめどはついていたのか。
住民との意志統一に努めている
か。一般情勢からして、特別職の給
料報酬のアップは控えるべきだ。
答 先に述べたとおり、国、県の指
導に沿っており、素朴な気持で提
案した。額については不当とは考
えない。

用途地域をめどはついていたのか。
住民との意志統一に努めている
か。一般情勢からして、特別職の給
料報酬のアップは控えるべきだ。
答 先に述べたとおり、国、県の指
導に沿っており、素朴な気持で提
案した。額については不当とは考
えない。

住みよい町づくりをねがって 朝日町に期待するもの 辰年生れのアンケート



竜(辰)は飛躍の象徴

昭和五十一年は、十二支からいうと、丙(ひのえ)辰(たつ)の年に当たる。

えとの由来については五十年一月号にくわしく述べたので省略するが、わが国では十二支の名称に動物をあてはめて呼ぶようになったのは室町時代以降といわれる。

この十二支のうち架空の動物は竜だけであるが、竜は十二支のうちで最もめでたい動物とされ、登り竜、登竜門などと縁起のよいものに使用され、また竜は雲を呼び雨を降らせる水神として、竜神の名で畏れられる一面ももっている。

さらに、竜は権威の象徴としてあがめられ、天子の代名詞として、竜顔、竜駕、竜種などと使われる。

竜は東洋ばかりでなく、古代ヨーロッパでも神話的な動物として存在が信じられていた。

竜は架空の動物というものの、古生代の爬虫類のことを思えば、過去において実存した動物と言えない

こともない。

竜年は飛躍の年、朝日町もそろそろ雄飛が期待される頃であるが、本年も辰年生れの方々に、朝日町の将来や抱負について、アンケートを頂いたが、回答の意義や価値については読者それぞれの立場で自由に判断していただきたい。

アンケート質問要旨

■新しい年を迎えてあなたが今年こそやりたいと思っていること。

■朝日町の町政についてどんなことをぞみますか。

■町広報「あさひ」について期待するもの。



事務員
横山ノブ子
昭和27年生
(温泉町)

一 辰、今年こそは女らしい辰になりたいと思います。なにか習いごとでもして……。自分にとってよい年になればよいなアなんて思っています。

二 医療福祉の面では、町立泊病院があり、町民の一人として非常にうれしく思っています。さらに望むならお年寄りのための施設があればと思っています。

三 図書館案内をいつも楽しみにしています。それに町の行事や町民の動きがよくわかります。これからも町民のためによい広報を作ってください。



会社員
中山宗貴
昭和27年生
(竹の内)

一 新しい年を迎えて、やりたいと思っていることは、仕事、サークル活動また、遊びなどの行動面の中から人と人とのふれ合いを通して、自分というものを深く見つめ、きびしく追求できればと思っています。

二 近年の農業経営は機械化が進んだと言われるが、諸条件、経済面ではまだまだ遅れている。

他に仕事を持ちながらの「ながら農業」では、農業の道は決して開けないと思う。

この朝日町は兼業農家が、ほとんどであるが、工場誘致、観光開発が先にたち忘れがちな農業問題を町全体で考えなければいけない。

三 最近の内容は非常にバラエティにとんでよいと思うが、読みやすさとは言えないと思う。

もうすこし活字は大きくてもよい。特にグラフや表など、そして、もっと空間を取ったらよい。(予算の関係もあると思いますが。)



会社員
柳沢幸康
昭和27年生
山崎(越)

一 今年こそは、個人として、生活の指標となる目標に向かって、充実した社会人となるよう努力したいと思っています。

二 新川広域圏の東端にあって、広域行政の推進も必要であるが、まだそのプランにあまえずきる感がす

る。また自分の職業が首都圏をよく往復するなかで朝日町を見れば、活気のない、発展性のない感じが強い。たとえば、中学校の統合問題、役場の建設にしても、場当り的な計画に終始しているように思えます。

総合的な朝日町建設の青写真を、プランのみに終らず、具体的に実施していただきたい。

また、もっと行政の力を十分に發揮するために町行政の改革と町議会との若返りを期待します。

三 毎日が忙しいため、最近、目もおすことが少ないが、一つだけいえば、もっと目につきやすく、読みやすい広報づくりをして下さい。



自営
東英二
昭和15年生
(荒川三丁目)

一 私は四人の親に恵れており、何かに付け見守って貰っているが、今迄、心配迷惑の掛け通しだった。朝の挨拶一つにしても、形式だけの事が多かったと思われるので、今年からは、心をこめて「おはようございます。」と言うよう努力したい。

二 道路と駐車場の充実

町の都市計画の実施には今迄以上に自動車を計算に入れてやらないとあ

とでどうにもならなくなると思う。駐車場問題は、商店街でやろうにも、難問が多過ぎるので、町の基本構想に添わせ、今年やらなければ、やれをくなくしてしまうと言う気迫で当って欲しい。

三 「朝日町二十年のうつりかわり」や「朝日町風土記」、「郷土の文

化遺産や文化人の足跡をたずねて

「長寿番付」、「朝日町の産業をさぐる」等興味深く拝読して居ります。

編集者の努力に感謝し満二十一年を迎えられた「広報あさひ」に、心からの拍手を送ります。



主婦
殿村和子
昭和15年生
(桜町)

一 平気で川にごみを捨てたり、車が人を押しつけて走るなど自分の事だけを考えた行動が多い今日、楽しく住みよい町をつくるには、町民の一人ひとりが他人の立場になって、行動しなければだめだと思います。

町民の一人として、できるだけ人にめいわくを掛けないように、先ず家庭の中からそして職場で努力することを今年の目標にして行きたいと思っています。

二 高速道路とかスーパー農道とかいろいろの開発計画がある事を聞いていますが地域社会発展のために必要なのはやらなければなりません。郷土の美しい自然をこわさない調和のとれた開発を期待します。

三 町民の唯一の広報でありますので出来るならば町政に対する紙上討論等行政と町民とのつながりの場にしたいです。



公務員
長井与二雄
昭和3年生
(笹川)

一 いつまでたっても住みよい町で

ありますよう、当地に生を受けた者としてこの美しい自然環境をもとにして、多くの人たちと語り合い、何がもっとも将来の町づくりであるかを見極め、勤労奉仕の精神を青年、婦人のみならず、小中高生の時代からしっかり植えつけ町民の一人として豊かなみのある我が郷土の建設に努めたいと思っています。

二 社会福祉施設の充実です。特に老人のいこいの場所を安く気軽に利用できるよう、例えばごみの焼却する熱でお湯を利用した浴場を建設しこれに娯楽施設や趣味を生かす研究施設などを併設していただきたい。

三 各部落のお宮お寺の歴史を広報で紹介してほしい。また個人でものを作ったり盆栽など熱心にやっておられる方々を定期的に紹介していただき朝日町の文化の発展に努めていただきたい。



農業
西島すみ子
昭和3年生
(下山新)

一 新年を迎え、特にやりたいということはまだ考えていませんが、毎日の生活が楽しく、働きたいのある家庭づくりに、専念できればと思っています。

二 今日の世界経済の著しい変化にとまぬい、モーターゼーションの発展にめざましいものがありますが、それに対応した、道路の建設、改良に力を入れていただきたいと思いません。不況とインフレの中で我が子の就

職を考え、悩む母として、就職難の解消に一考してもらえればと願う次第です。

三 広報「あさひ」については、あまりわかりませんが、このアンケートを機会に、町の動きを知るよう、読むことに努力したいと思っています。



店員
横川俊美
大正5年生
(東下町)

一 特にやりたいことはありませんが、しいていえば、充実した生活を送りたいと思います。

二 買物に來られても、駐車場のないのが商店街の現状です。町の政策の一つとして、誰でもが車で気軽に買物のできる街づくりに駐車場の設置を積極的に進めてもらいたいと思います。そのことが町の発展につながるのではないのでしょうか。

三 毎月の企画は大変だと思えます。これからも、だれでも親しむことのできる広報紙づくりに努力してください。



農業(主婦)
河村マシエ
大正5年生
(月山)

一 朝日町は城山を中心に県立自然公園に指定されておりますから、この美しい町を愛本の方から棚山、城山から境の方までグループで見学したり、またサツキ教室のように指導者について植木や、野菜作り育成防

除等を勉強して日常生活に取り入れていきたいと思います。

二 朝日町の上流に源を発する北又川に発電ダムを作り、その排水を小川に入れて小川ダムを作り、上水道や灌漑用水、工業用水等にして公害のない大企業を誘致する一方、観光面の開発、小川温泉の元湯の豊富なお湯を開放して貰い、大資本を導入、観光と産業で財源の乏しい町を新しい魅力ある町にするよう期待します。

三 発刊されましたより二十余年の長い間、朝日町の住民であっても知らない文化遺産や文化人、石仏、名木、その他広い範囲にわたって色々取材、撮影、編集と各戸へ配られるまでの御苦労を感謝すると共に今後の御活躍を期待致します。



無職
下山勝太郎
明治37年生
(西下町)

一 特別に何かやりたいと思うことはありません。ただ身体の丈夫なかぎり、健康のためにもできるかぎり働きたいと思っています。

二 朝日町は山間部が多いので工場誘致など困難であるから徐々に開発の進んでいる城山宮崎海岸ルートや棚山方面等をこれから開発すればどうでしょうか。それに小丸山公園を子供の遊園地の場にすること。北陸自動車道路は昭和五十三年度までに建設されることを期待しております。三 毎月の広報あさひの内容は大変結構です。



無職
川上のふ
明治25年生
(東三浦町)

一 やることなすことが、若い者によく言われなくてもいいが、老人が老人なりに手足をうごかす事。何かをしていると、頭もボケないし、体も調子がよいと思うので、自分に出来る事を続けて行きたいと思っています。

二 老人達が気楽に出入り出来て一日ゆっくりと遊べる静かな所。保養センターのような温泉でもあって老人同志が手足を伸ばして心も体も休まる所が出来たらと思います。

三 広報に掲載される昔の町の記事が若い者と年寄りの対話のよいひと時となつてもよい事と思います。古い町の事を、若いものが知らないから、年寄りに聞くといい出しながら、教える事の楽しさが、何よりの楽しみですから今後も長く続けてほしい。



無職
水島つよ
明治13年生
(境)

私は明治の初めに生れたものですから今頃の若い人達とは違って何事も時代遅れで何にも役には立ちません。今の時代はとても幸せな時代で、何でも便利な世の中になりました。何不自由なく生活が出来ますが便利すぎて大変お金がいる時代です。今の若い人達は一週間に二日も休みがでるようで、実に結構な世の中で

す。戦時中には小供も戦死し私は体が健康でしたからよく働いたものでした。今の時代は保障がありますし、たべ物なんか何でもあり栄養も十分取れて結構な世の中になったものだと思います。私も今年あけましてかぞえ九十七才になりました。体が遠者ですが、今、足クビがちよつといたいので家の中でも杖をついてあるきますが、大した事ありません。せんたくも自分のことは自分で出来ますので、まだ何一つ人の世話にならなくてもよいので喜んで居ります。たべ物も何でもおいしくて何でもいただいて居ります。また色々な物を見たり聞いたり、うまい物をいただいで喜んで長生をたのしみながら過して居ります。

選挙管理委員選任

十二月十九日、町議会で任期満了に伴う朝日町選挙管理委員、補充員に次の方々が選任されました。

二十五日、選任後初の委員会では、委員長に伊東正宣氏、同職務代理者に牧野六郎左衛門氏を選任しました。

朝日町選挙管理委員会

- 委員長 伊東正宣
- 委員長職務代理者 牧野六郎左衛門
- 委員 竹内広作 追分市郎
- 補充員 近藤慶次 水島近太郎
- 加藤喜一 前川為吉

社会教育 境公民館 新築落成

かねてから境地区においては独立の公民館の建物がなく、農協支所の会議室や、小学校、あるいは旧役場支所などを使ったりしてはなはだ不自由を感じるため、昨年来地区有識者の間から公民館の建設が叫ばれ、地区公民館長水島近太郎氏や、区長金森甚六氏らが中心となって奔走の結果、予算三千二百五十万円で行く十月、境関所ゆかりの地である、もとの境支所跡に建設が進められ、十二月下旬、鉄筋二階建の立派な公民館ができあがりました。



境地区は、従来から公民館活動が熱心で、かつて地区あげて新生活運動を進めて、県表彰を受けるなどの実績もあり、このたびの公民館の建設は今後の地区社会教育振興に大いにプラスされるものと期待されています。

なお、このたび完成した公民館は鉄筋コンクリート二階建、一階は老人室、第一研修室、図書室兼資料室、会議室、調理実習室、事務室、二階は、集會室兼体育室、第二研修室等に区分されている。

朝日町 公民館関係者 研修会開く

福祉センター

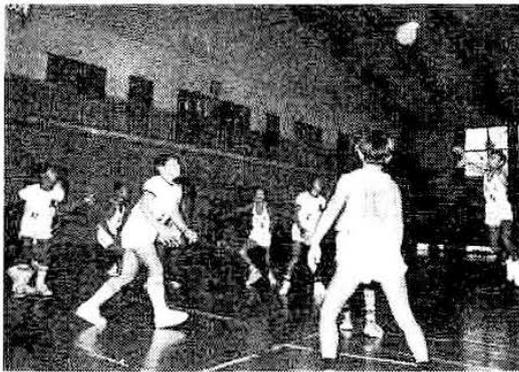
朝日町教育委員会においては本年度から、公民館設置条例の改正によって各地区公民館に書記が配置されたが、館長、主事、書記の連係協調を密にし、これを軌道に乗せ公民館活動の振興を図るため、去る十二月十二日、福祉センターにおいて管内公民館関係者研修会を開催しました。

この日、県社会教育課からは浦田、浩社教主事、魚津教育事務所から油木逸郎社教主事の両氏が出席して開かれましたが、入善町では既に三年前から主事補の制度を採用

し、各地区館に三名の主事補を配置してそれぞれ特定の業務を分担して活躍しており、この日の研修課題として特に入善町野中公民館主事補、小松啓一氏の主事補の活動の実態発表が行われ、これについての質疑や助言があり、そのあと浦田主事の講話があつて五時に終了しました。

スポーツ

宮崎 バスケットボール スポーツ少年団 結成



十一月三十日、ミニ・バスケットボール大会の開会式に先がけ、宮崎バスケットボールスポーツ少年団の結成式が行われました。このスポーツ少年団は、バスケットを通して、健康な身体と精神を養うことを目的として結成されたもの

で団員数は男女二十四名、なおこれで朝日町では十のスポーツ少年団ができました。

第一回ミニバスケット ボール大会 開かれる

十一月三十日、泊中学校体育館において第一回小学校児童の部ミニ・バスケットボール大会が行われました。

この大会は、南保、五箇庄、泊、宮崎の各バスケットスポーツ少年団員の交流と友情を深めるとともに、日頃の練習の成果を披露し、技術の向上をはかるためにおこなわれたもので、児童の喚声もさることながら指導者の声も大きくなり、手に汗をにぎる熱戦がくりひろげられました。結果は次のとおりです。

男子 優勝 五箇庄
次勝 泊
次勝 宮崎

女子 優勝 泊
次勝 宮崎



朝日町人口予想 入選者発表

昭和50年10月1日に実施された国勢調査の朝日町人口は総数一九、〇八二人でありましたが、先に募集した予想懸賞に高田佐和子さんが三九人差で金賞を得られたほか次の方々が入選されました。

- 金賞 高田佐和子(一九、〇四三人) 大家庄小六年生
- 銀賞 谷 繁作(一九、〇三七人) 西町
- 銅賞 谷 信男(一九、〇二五人) 西町
- 谷 けい子(一八、九九七人) 西町
- 南茂 嘉宣(一八、九八〇人) 五箇庄小六年生
- 南茂 千景(一八、九六〇人) 泊中三年生

国勢調査地区別人口・世帯数

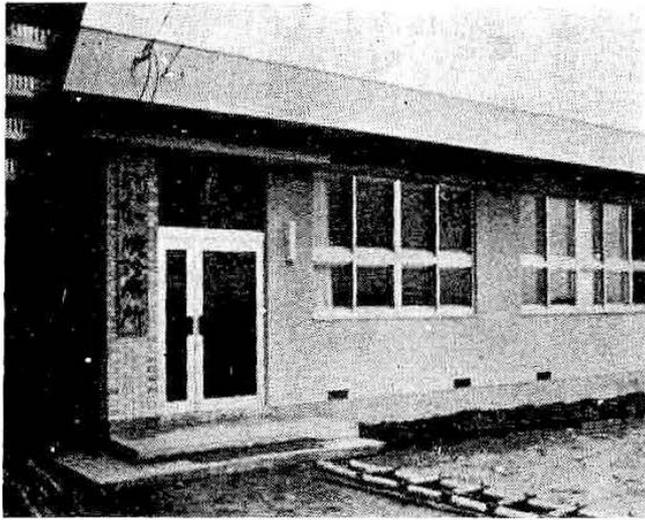
年次	総数		大家庄		山崎		南保		五箇庄	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
50	4,865	19,082	624	2,657	533	2,081	413	1,610	535	2,195
45	4,780	19,311	635	2,785	547	2,222	433	1,757	521	2,145
40	4,673	21,011	629	2,986	556	2,516	442	2,083	516	2,289
各10月1日現在 50年以降数	泊		巖川		宮崎		境			
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
	2,122	8,031	170	677	216	874	252	957		
1,964	7,684	183	771	223	905	274	1,042			
1,805	7,758	198	962	225	986	302	1,431			

福祉の窓口

境診療所 新築竣工

● 国民健康保険 ●

朝日町国民健康保険境診療所は、昭和二十三年に旧境村の診療所として開設されました。その後昭和二十九年に町村合併がなりそれに伴い朝日町国民健康保険境診療所として今日に至っております。その間、診療所建物の老朽化が著るしくその新築が叫ばれておりました。そして昭和四十九年に境公民館の建設が決定されたのを機会に境診療所も新築と決定になり、昭和五十年七月二十三日



に着工し十二月十日に完成いたしました。診療所の概要は、

鉄筋コンクリート平家建て六十八・九㎡、診察室、検査、待合室、レントゲン室(予定)を備え、近代的な施設となっております。総事業費、八百十三万六千円。今後も地区住民の医療センターとして疾病の予防や治療が、一層促進されるものと期待されています。

国民年金

成人の日に 国民年金加入を

◆ 一月十五日 ◆

大人として、社会人として、かきふれない夢と希望に満ちあふれた青春の門出を温かく祝ってあげましょう。二十歳になると、成人としての多くの権利が与えられ、義務が課せられます。

国民年金に加入することも義務の一つとして法律で定められています。わが国には、八つの公的年金制度があり、国民は必ず、どれかの年金制度に加入するたてまえとなっております。会社や工場につとめる人は厚生年金、公務員や公共企業体職員、教職員

、農協や漁協につとめる人は、各共済組合に、農業や商業に従事する人は国民年金に加入しなければなりません。

洋裁、料理・美容学校に行っている人も国民年金の加入者です。今は、ヨーロッパ、アメリカでも若者はみな、年金の加入者です。国民年金に加入すれば一年金手帳「が手渡されます。ゆたかな国際社会人へのパスポートとして……。

浄化槽の設置状況調査

ご協力おねがい

近年文化生活の向上に伴い、浄化槽による便所等の水洗化が進んでおります。

浄化槽を設置するときは建築主事あるいは保健所に届け出ることになっていますが、届け出をせずに設置されているものもあります。

この無届けが維持管理の不徹底につながるり付近からの苦情や、環境汚染の原因ともなっております。

黒部保健所では、浄化槽を設置されている住宅、事業所等をは握して今後の指導に役立てたいと考えております。

つきましては、近日中に各町内ごとに用紙を回覧いたしますので、ご面倒かと存じますがご協力方よろしくお願いいたします。

消防署たより

積雪時の除雪と 火災予防

本格的な積雪時期に入り、消防車及び救急車の運行に支障がでることが多分に考えられます。特に市街地では積雪状況を見て、町内の一斉除雪等実施してご協力下さい。

また寒さが厳しい毎日ですが、石油ストーブ等の暖房器具の取扱を誤ると一瞬にして大惨事になります。石油ガス器具等の取扱に十分注意して、火災発生防止に努めるとともに次の事項に留意して下さい。

■ 屋根に雪が多く積もると思われるときは早目に降ろすこと。

■ 屋根雪等を道路に降ろしたら、すぐ整理して消防車、救急車が通行できるようにすること。

■ 消火栓、貯水槽は、町内を守る大切な水利ですので周囲の除雪を励行すること。

■ 火災の通報をするときは、場所及び目標物を明確に連絡すること。また救急車を要請するときも、場所、目標物、病人の病状等を明確に連絡すること。

火災の問い合わせは

※火災が発生すると一一九番(火災・救急専用電話)での問い合わせが殺

到しベルが鳴り止むひまがありません。もしこの間に救急車等の要請があっても話し中となり、大切な人命が失なわれることも考えられますので火災の問い合わせは一一九番を回されても、応じませんので一般加入電話(三〇〇九番)で問い合わせ下さい。

消防設備

点検資格者 講習会案内

消防庁長官指定の昭和五十年度「消防設備点検資格者」となるために必要な知識及び技能を修得させるための講習」が次の通り実施されますのでお知らせします。

記

第一種電気設備

開催日 昭和五十一年二月十九、二十、二十一日

場所 金沢市 中小企業会館

第二種電気設備

開催日 昭和五十一年三月十、十一、十二日

場所 金沢市 中小企業会館

富山県内関係は定員百五十名に限られていますので受講を希望される方は早目に申し込んで下さい。その他詳細については消防署へ問い合わせ下さい。

申請書の受付期間は昭和五十一年一月十二日から一月十六日までです。

山崎市次郎さんに高齡者叙勲

勲五等瑞宝章

(舟川純)



舟川新の山崎市次郎さんは朝日町における最年長者として本年一〇二才の高齡を迎えられました。市次郎さんは、若くしてこの世を去った同村の農業の先覚者藤井十三郎氏と共に、明治三十年、舟川新部落の耕地整理を志し、周囲の反対や中傷を排除して地区の人々を説得して、自ら私財を投じ散居する宅地と耕地の整理を断行し、現在の舟川新を築かれた功労者であります。市次郎さんの過去の大事業が原動力となり、また契機となって今日の圃場整備の促進に大きく貢献したものと、このほど勲五等瑞宝章を授与されました。

Young わかも の 朝日町 青年祭 行われる

- 次勝 山崎校下青年団
- 意見発表の部
- 最優秀賞 草原庄一(山崎)
 - 優秀賞 谷口宗次(南保)
 - 努力賞 沢田修(大家庄)
- 音楽の部
- 最優秀賞 南保校下青年団
 - 優秀賞 山崎校下青年団
 - 努力賞 五箇庄校下青年団
- 演劇の部
- 最優秀賞 泊校下青年団
 - 優秀賞 山崎校下青年団
 - 努力賞 五箇庄校下青年団

昭和五十年度朝日町青年祭は、去る十二月七日、泊小学校において開催されました。朝から、あいにく雨にみまわれましたが、意見発表を皮切りに、各校下団紹介、音楽、演劇、郷土芸能、舞踊の順におこなわれました。結果は、次のとおりです。

- 総合優勝 南保校下青年団



(写真は郷土芸能発表の一部)

- 郷土芸能、舞踊の部
- 最優秀賞 南保校下青年団
 - 優秀賞 大家庄校下青年団
 - 努力賞 五箇庄校下青年団

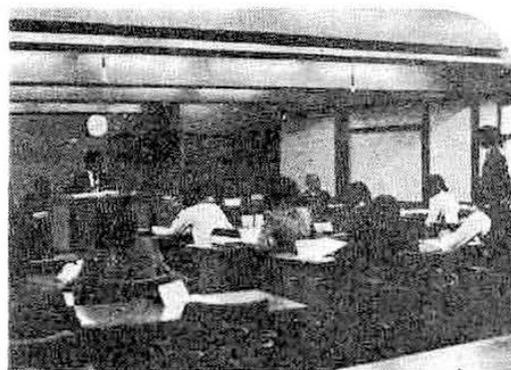
なお連青では、一月十四日(水)午後六時三十分より、農協会館二階大ホールにおいて、祝成人の日、ダンスパーティーを開催します。

朝日町青年議会議事 本会議終了

第十三回朝日町青年議会議事本会議は十月二十五日午後一時から、朝日町議会議場において、中川町長、加藤助役、藤条教育長、酒井町議会議長、各課長の出席のもと開催されました。

本会議においては、消防署問題、駐車場問題、統合中学校問題、社会教育団体の育成関係等、活発な質疑応答がなされ、また、数年前から取り

上げている「町議会広報の発行」に關しては、議員提出議案として全会一致で可決し本会議を終りました。各青年議員は二か月の短期間ではありましたが、議会ルールの学習やそのほかの体験を生かして青年の声を町政に反映するよう努力することが期待されます。



光 観 県立公園の 標識を設置 国道8号線 宮崎地内

町では、このほど、朝日県立自然公園、宮崎地区の国道八号線沿いにデラックスな県立公園標識を設置しました。これは、富山県で最初に指定された朝日県立自然公園の存在を、国道

や国鉄を利用する県内外の人達に広く知ってもらおうと、県立自然公園整備事業の一環として行ったもので、設置された標識は、鉄骨づくり、高さ八尺の四角錐柱の上部に、横板で「朝日県立自然公園」と表わし、横板の南北両端は、朝日県立自然公園の中心拠点である「城山」、「宮崎海岸」を指し示しています。(写真は城山トンネル東側登り坂付近に建てられた標識)



町営工事入札状況

- 最近入札された百万円以上の工事
- 一、町道田中大鷲谷線改良工事
 - 工事費 一、〇〇〇千円
 - 工期 十二月六日～昭和五十一年三月十日
 - 延長 四四米
 - 巾員 四・五米

今月の税金

町県民税四期分 国民健康保険税四期分 忘れずに納めましょう。

新春文芸

初春の句

朝日町榊(たぶ)句会

良き年をつづりゆきたし初日記

池原喜美子

街音に我が家遠し年始め

板沢 茂

元朝や百鶴の顔あらたなる

尾崎泊童

初み空鳥金色にみえかくれ

片桐芭女

元日やポストに耳をうばわれる

川上寒月

実南天たわゝに赤白初日浴び

金田奈々子

小商人阿修羅月やり酔寝正

清水直樹

白馬嶺の凍照り返すお元日

双川和夫

元朝のわが紙正す寒さかな

長崎碧山人

磯の香の漂う村の初明り

浜田一男

峰々の雪輝きて初日の出

舟本伊次郎

元日や農一筋に家守る

平坂久雄

新玉の無病祈りて若菜つむ

本田千代乃

元旦や生たしかめつ大地踏む

水島末吉

初雪やたまねぎ苗の細かりし

水島利子

馬鬣山おごそかに明け初詩吟

米島一枝

去年となり今年となりし山を見る

松倉悟童

みんなの図書館



本は心のたべもの

予約サービス

ご利用ください

ご希望の本を

確実に入手するために

読みたい本はどんどん

予約してください

電話でもOKです

TEL三〇五七四

●あなたの読みたい本が図書館にな
いとき。

◆貸し出し中なら、その本が返っ
たときお知らせします。

◆まだ買っていない本は新しく購入
して、まっ先にお知らせします

◆買えそうにない本は、県立図書
館などから借りてお知らせしま
す。

新着図書のご案内

新聞のすべて

福田恒存他

仏のこころ人のこころ

松原泰道

世界を変えた本

ロバートダウンズ

時事年鑑一九七六

時事通信社

天才の世界

湯川秀樹

小京都一〇〇選

宮田輝編

将介石秘録

サンケイ新聞社

南京大虐殺

洞 富雄

東海自然歩道をゆく

上善峰子

仏説で解く邪馬台国

神西秀憲

僕がいる絵葉書

永 六輔

歴史をさわがせた女たち日本編

永井路子

どもりは必ずなおせる

花沢忠一郎

現代母親論

藤井治枝

だめな子はいない

稲垣倉造他

フアッションと風俗の七〇年

婦人画報社

現代に生きる民話

大川悦生

老いの意味

ポール、トウルニエ

お母ちゃんはうるさい

吉岡たすく

お年寄りの食事

佐藤陽一郎

クストー海の百科

平 凡 社

腰痛を退治する

大井淑雄

寶石に強くなる本

原田 馨

もう病気にはなれない

文化放送編

爽快ツボ刺激法

中谷義雄

星座への招待

村山定男他

昆虫たちへの世界

石渡武敏他

食を生かす

伊藤清夫

種の絶滅と進化

坂東祐司

コンピュータなんかこわくない

竹内均 他

地球は寒くなるか

土屋 巖

生きることに死ぬこと

中山善之訳

リウマチ、神経痛、痛風の治療相談

勝 正孝

赤ちゃんの病気

堀 誠

日本の名画

中央公論社

桃山屏風大観

前田一夫編

父の帽子

森 茉莉

へんこつ(上、下)

平岩弓枝

罪の夜想曲(上、下)

梶山季之

銀嶺の人(上、下)

新田次郎

ムツゴロウのゆうびん箱

畑正憲

気球乗り放浪記

寺山修司

草くさの心

水上 勉

芸術家まんだら

宗 左近

春の岬

中山あい子

鬼怒川

有吉佐和子

● 良い本の紹介 ●

越中の彫刻

祈りと美の系譜、美術工芸の歴史は長い。原始から今日まで、さまざまの形で数多くの作品が創造されてきました。現存する作品はそのごく一部にすぎません。いわゆる伝統的な名作というものに接した時、心をうたれることがしばしばあります。それは単に美を感じさせるだけでなく、その作品を生み出した時代の背景や文化、あるいは作者の心が生き生きと伝わってくるからです。

私たちのふるさととは過去において文化的に中央から遠くはなれ、室町時代頃まで越中の美術工芸のレベルは、全国でも高かったと言われています。写真でみるふるさととの百科です。当図書館にあります。

著者 長島 勝正

五十一年版時事年鑑

激動の世界と波乱の国内動向について時事通信社が世界に張りめぐらした百数十カ所の支社、局網を動員して入手した内外の政治、外交、経済、社会、文化、スポーツなどの膨大な資料を素材とし、専門家の協力をえて生み出された年鑑記録です。情報の氾濫する現代には、その正しい選択と整理が必要となります。年鑑は私たちに、それを教え、活きた知識をもたらす、明日への歩みを約束してくれまます。

一九七六年版

時事通信社

北電だより

冬を暖かく過して

いただくために

暖房用電気器具を

上手に使いましょう

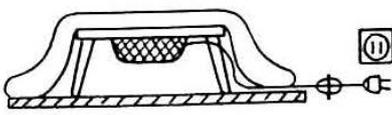
電気こたつ

熱が逃げないよう保温性のよいゆったりした掛けふとんと下にはマット、毛布を敷くと効果が良い。熱すぎないほどで使い。衣類などを中に入れるのはあぶないからやめましょう。

電気毛布

調整装置の目盛を高くしたまま、長時間使用しますと、低温やけどをすることがありますので乳幼児、お年寄の方には特に注意してあげてください。また湯タンポ、あんかななどの併用は事故のもとになるのでやめましょう。

北陸電力泊営業所
(電3-0028)



●お使いにならないときは必ず電源コードをコンセントから抜いておきましょう。

